

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																		
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~2日	7月 ~9日	7月 ~16日	7月 ~23日	7月 ~30日
カンピロバクター	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	17	12	8	21	16
病原性大腸菌	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	30	20	14	19 (1)	14
腸管出血性大腸菌	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	7	1	4	7 (1)	5
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	3	0	4	0 (1)	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	4	2	3	1	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	1	1	2	3	1*
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

* その他は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第30週(7月24日~7月30日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10			2	1	4		3
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3							3
四類	3	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1			1				
		日本紅斑熱	1				1			
		レジオネラ症	1					1		
五類	19	クロイツフェルト・ヤコブ病	2					1	1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		梅毒	15	1			1	10		3

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり13.03人の報告があり、増加が続いています。手洗い、換気、マスクの効果的な場面※での着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

※ 受診時や医療機関・高齢者施設を訪問する時、混雑した電車・バスに乗車する時など

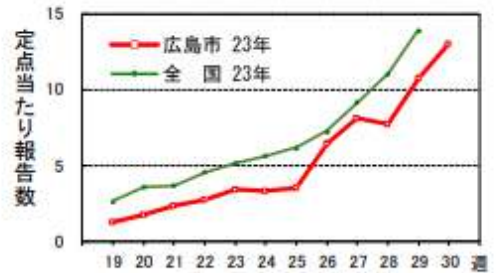
2 ヘルパンギーナ

定点当たり3.17人の報告がありました。2週連続で減少しましたが、多い状況です。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

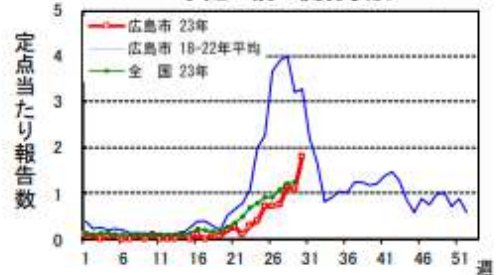
3 手足口病

定点当たり1.79人の報告があり、前週の約1.7倍に増加しました。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染です。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行状況



手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	43	1.19	0.05	◇	小児科	ヘルパンギーナ	76	3.17	0.81	⇒
	新型コロナ(COVID-19)	469	13.03		◇		流行性耳下腺炎	2	0.08	0.07	
小児科	RSウイルス感染症	34	1.42	2.88	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	9	0.38	0.26			流行性角結膜炎	3	0.38	0.53	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.13	1.07	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	75	3.13	3.00	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	2	0.08	0.19			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	手足口病	43	1.79	3.28	⇒		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.09			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.06	
	突発性発しん	4	0.17	0.34							

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ⇐ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	73	70歳代・1人、80歳代・3人
4	日本紅斑熱	1	3	80歳代
4	レジオネラ症	1	23	60歳代
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2	80歳代
5	梅毒	10	177	20歳代・2人、30歳代・2人、40歳代・3人、50歳代・2人、60歳代・1人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	6	60歳代